資料1

中山間地域等直接支払制度について

埼玉県農林部 農業ビジネス支援課

中山間地域等直接支払制度とは

 申山間地域等直接支払制度とは、 中山間地域などの農業生産条件が 不利な地域において、5年以上農 業を続ける事を約束した農業者に 対して、交付金を交付する制度で す。

補足

制度の開始は、H12年度。1対策期を5年間としており、現在は、 第3期対策の2年目。

当委員会において3年目終了後(H25年度)に中間評価、5年目終了見込み時点(H26年度)に最終評価を審議していただく予定。

埼玉の中山間地域



- 一般的には山間や山沿いの 地域を指し、自然的、社会・ 経済的条件が不利な地域とい う意を含んで使われている。
- 埼玉県では農林統計上の山間地域と中間地域、山村振興法、特定農山村法、過疎法の適用を受ける地域としている。 (15市町村が該当)
- 埼玉県の中山間地域の現状
- >中山間地域は本県面積の約1/3
- ▶人口は県人口の約2%
- ▶65歳以上の割合は約25%
- ▶耕作放棄地面積は1,350ha(県全体の 約45%)
- ➤農業産出額は228億円(県全体の約 12%)

埼玉の中山間地域一覧

分類	農林	統計	特定農山村	振興山村	過疎地域
市町村	中間農業地域	山間農業地域			
飯能市		原市場村·東吾野村·吾 野村·名栗村	名栗	名栗	
越生町		梅園村	梅園		
小川町	大河村・竹沢村・男衾村 の一部				
ときがわ町	平村·玉川村	大椚村	都幾川	大椚	
鳩山町	亀井村				
秩父市	尾田蒔村·久那村·高篠 村·大田村·吉田町	浦山村・上吉田村・大滝 村・荒川村	吉田 上吉田 荒川 大滝	浦山 上吉田 大滝	大滝
横瀬町	横瀬村	芦ヶ久保村	全域	芦ヶ久保	
皆 野 町	国神村・金沢村・三沢村	日野沢村	金沢 日野沢 三沢	金沢 日野沢	
長 瀞 町	長瀞町				
小鹿野町	小鹿野町・長若村	三田川村·倉尾村·両神 村	全域	三田川 倉尾 両神	両神
東秩父村	大河原村	槻川村	全域		全域
本庄市	秋平村・本泉村・松久村 の一部		本泉	本泉	
美 里 町	大沢村				
神川町	渡瀬村·矢納村·阿久原 村		神泉	矢納	神泉
寄居町	折原村				
合 計	13市町村 (27地区)	8市町村 (16地区)	全域指定3町村 一部指定7市町 (15地区)	一部指定8市町 (13地区)	全域指定1村 一部指定3市町

中山間地域の課題

- 農地が狭小で傾斜
 - → 農業生産条件の不利
- 過疎化や高齢化の進行
 - → 農業や地域活動の維持が困難
- 野生動物による農林業被害が拡大 (猿、猪、鹿など)
 - → 農作業意欲の低下
- 耕作放棄地の拡大
 - → 多面的機能の低下

制度のポイント

- 山村、過疎地等の傾斜農用地が対象。
- 「<u>協定」</u>を締結し、5年間以上農業生産活動を続ける農業者へ交付。
- 交付金の使途は特に制限がない。

集落協定の内容

- 協定の対象となる農用地の範囲を指定
- 構成員の役割分担 農用地の管理方法、水路・農道の管理活動の 作業分担、鳥獣被害防止対策
- 交付金の使用方法



交付単価

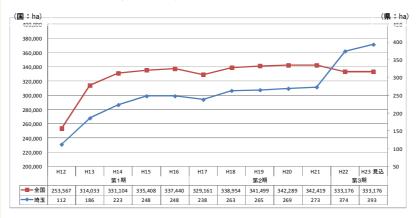
(交付単価は10aあたり)

	wis i Cassicis)	
地目	地目 区分	
⊞	急傾斜 (傾斜度1/20以上)	21,000
Ш	緩傾斜 (傾斜度1/100以上)	8,000
畑	急傾斜 (傾斜度15°以上)	11,500
	緩傾斜 (傾斜度8°以上)	3,500
	急傾斜 (傾斜度15°以上)	10,500
草地	緩傾斜 (傾斜度8°以上)	3,000
	草地比率の高い草地	1,500
採草放牧地	急傾斜 (傾斜度15°以上)	1,000
休早瓜牧地	緩傾斜 (傾斜度8°以上)	300



埼玉県の交付実績(H23年度見込)

- 交付市町村数 14市町村
- 協定数·参加人数 76協定·約1500人
- 交付面積 393ha
- 交付金額 34、619千円



【事例①】棚田学校による農山村交流



横瀬町寺坂地区

- 交付面積 田3.7ha(急傾斜)
- 交付額 624千円
- ■協定参加者 30名
- 県内最大規模を誇る当棚田は、都心へのアクセスも良いことから、都市部の住民も対象とした棚田学校を開校。

代掻きから収穫まで毎月、 農家の指導による作業を体 験し、農山村の交流の場と して活用されている。

【事例②】エキナセアによる高付加価値農業



寄居町中間平地区

- 交付面積 畑7.1ha(緩傾斜)
- 交付額 250千円
- 協定参加者 7名
- 地区内の未利用農地(桑園)にハーブの一種であるエキナセア(キク科)を植栽

エキナセア茶やジャムに 商品化し、健康食品として 町内の直売所や観光案内所 などで販売している。

また鮮やかな色の花を咲かせるため、毎年、エキナセア祭を開催している。